

日本学術会議
薬学委員会（第25期・第2回）
議事録（公開用）

日 時 令和3年3月15日（月）15：00～17：00

場 所 遠隔会議

出席者 佐治委員長、望月委員、遠藤委員、山崎委員、永次委員、高倉委員、太田委員、
入江委員、菅野委員

議事等

1. 薬学委員会委員について

資料2に基づき委員会名簿について確認した。

2. 第二部拡大役員会の報告

佐治委員長から資料4に基づき説明があった。また、遠藤委員から追加説明があった。

3. 第25期の活動方針について

佐治委員長から、幹事会からの資料5ならびに資料6に基づき委員会、分科会活動の見直しについて説明があった。

望月委員から、資料5の科学的助言機能の強化ならびに情報発信力の強化、資料6の項目1～5が今後重視される旨説明があった。

4. 委員会・分科会報告

薬学委員会の活動について佐治委員長から資料7-1に基づき報告された。

化学・物理系薬学分科会の活動方針について永次委員から資料7-2に基づき報告され、最近問題となっている博士課程学生の激減について今後のテーマとする旨報告された。

生物系薬学分科会の活動方針について山崎委員から資料7-3に基づき報告された。1月にシンポジウム開催、今後は資料6の5項目を重視して活動する旨報告された。

医療系薬学分科会の活動方針について高倉委員から資料7-4に基づき報告された。前期から持ち越しの報告発出と、シンポジウム開催の予定について報告された。

薬学教育分科会について太田委員から資料7-5に基づき報告された。第25期では薬学部の参照基準作成ならびに大学院のあり方についての議論を進める旨報告があった。

薬剤師職能分科会について入江委員から資料7-6に基づき説明があった。前期に提出した職能とキャリアパスに関する提言のフォローアップを行う旨報告された。

毒性学分科会の活動について、菅野委員から資料7-7-1, 資料7-7-2に基づき説明があった。

5. その他

学術会議での薬学委員会の活動方針について自由討論を行った。

6. 日本学術会議会則 27 条第 2 項に基づく委員会決定
資料 8 に基づき分科会の議決について確認した。